

達成目標の進捗状況

	年	基準値	目標値	最新値	進捗状況
① 食品産業製造品出荷額等 (工業統計調査(経済産業省調))	年	2014年	2022年	2020年	A
	数値	1,782億円	2,070億円 (2020目安1,998億円)	2,013億円	
② 生産性を高める農地の条件整備面積 (農政部調)	年度	2013~16年度累計	2018~22年度累計	2018~22年度累計	A
	数値	1,220ha	1,365ha	1,661ha	
③ 果樹戦略品種等の栽培面積 (農政部調)	年度	2016年度	2022年度	2022年度	A
	数値	1,155ha	1,480ha	1,590ha	
④ 果樹の新規就農者数(45歳未満) (農政部調)	年度	2014~16年度平均	2022年度	2022年度	D
	数値	32人/年	32人/年	28人/年	
⑤ 素材(木材)生産量 (木材統計(林務部調))	年	2015年	2022年	2021年	C
	数値	65,431m ³	77,000m ³ (2021目安75,347m ³)	65,652m ³	
⑥ 小水力発電設備導入容量(新規認定分) (固定価格買取制度 設備導入状況 (資源エネルギー庁))	年度	2016年度末	2022年度末	2022年度末	A
	数値	461 kW	1,841 kW	1,887 kW	

【達成目標の進捗状況】

- 食品産業製造品出荷額等
管内飲食料品関連の新商品開発、販路開拓支援等を行い、把握している最新値を基にした目標年の推計値は目標を達成すると見込まれる。
- 生産性を高める農地の条件整備面積
老朽化した幹線水路や揚水機場、畑地かんがい施設の更新整備を計画的に進め目標を達成(累計で1,661ha)した。
- 果樹戦略品種等の栽培面積
果樹経営支援対策事業の活用やオリジナル品種の栽培講習会などの取組により栽培面積は1,590ha(右グラフ)となり目標を達成した。
- 果樹の新規就農者数(45歳未満)
新規就農者に対し就農相談から就農後の経営安定に向けたきめ細かな支援を行ったが、新規就農者数は新型コロナウイルス感染症等の社会的要因の影響を受けて安定せず目標に達しなかった。
- 素材(木材)生産量
高性能林業機械の導入支援やスマート林業技術の普及、人材育成等の素材生産体制強化に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた主要需要先の合板工場の入荷制限により、素材生産事業者が生産を見合わせているため、進展不十分となった。
- 小水力発電設備導入容量(新規認定分)
関係機関や民間事業者等と連携して発電設備導入を計画的に進め、目標を達成した。



【地域重点政策の評価】

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一部の項目を除くと、全体としては概ね目標を達成しており、地域の特長を生かした「ものづくり産業」強化やおいしい農産物の継承と魅力向上などの取組を通じて、「活力あふれる」ながの地域づくりを推進することができた。
- 地域計画策定後に発生した令和元年東日本台風災害からの復興に関し、民間事業者と連携した地域農産物のPR・販売や被害農作物に係る事業者支援などにより、地域産業の復旧や活性化を推進した。

【今後の取組の方向性】

- 人口が減少し、担い手が限られる中でも、様々な産業分野におけるデジタル技術の活用により、地域の強みを生かした産業の活性化を図る必要がある。
- 長野地域の特色である果樹生産を更に拡大するため、県オリジナル品種の戦略的導入や必要な施設整備を進める必要がある。
- 災害に強い森林づくりの推進や主伐・再造林による二酸化炭素吸収の促進など、森林資源を生かす健全な山づくりを進める必要がある。
- 再生可能エネルギーの生産拡大や二酸化炭素排出量の削減等について、地域で連携した実践的取組が必要である。

達成目標の進捗状況

		基準値	目標値	最新値	進捗状況	
⑦ 観光地利用者数 (観光地利用者統計調査(観光部調))	年	2016年	2022年	2022年	C	
	数値	1,570万人	1,650万人	1,606万人		
⑧ 観光消費額 (観光地利用者統計調査(観光部調))	年	2016年	2022年	2022年	A	
	数値	693億円	728億円	732億円		
⑨ 移住者数 (企画振興部調)	年度	2016年度	2022年度	2022年度	A	
	数値	238人	320人	348人		
⑩ 地域の行事に参加する児童生徒の割合 (令和4年度全国学力・学習状況調査(文部科学省調))	年度	2017年度	2022年度	2022年度	D	
	数値	85.9%	維持向上	81.4%		
	(小学校、上段)	年度	2017年度	2022年度	2022年度	A
	(中学校、下段)	数値	58.2%	維持向上	70.9%	
⑪ 学術、文化、芸術、スポーツの振興を活動分野とするNPO法人数 (県民文化部調)	年度	2016年度	2022年度	2022年度	D	
	数値	78法人	維持向上	73法人		
⑫ 信州ふるさとの見える(丘)認定数 (建設部調)	年度	2016年度	2022年度	2022年度	C	
	数値	12箇所	17箇所	14箇所		

【達成目標の進捗状況】

● 観光地利用者数 / 観光消費額

観光地利用者数については、新型コロナウイルス感染症等による旅行需要の大幅減少を受けた広域観光推進事業の取組や善光寺御開帳、行動制限の解除などの後押しもあり目標に近い数値となったものの進展不十分となった。なお、観光消費額は目標を達成した。(右上グラフ)

● 移住者数

市町村の取組支援やブログや動画による長野地域の魅力発信等の取組により目標を達成した。(右下グラフ)

● 地域の行事に参加する児童生徒の割合 / 学術、文化、芸術、スポーツの振興を活動分野とするNPO法人数

地域の行事に参加する児童生徒の割合の増加に向けて、地域と学校による協働活動の推進を支援した。全国平均を大幅に上回って推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり小学校児童の地域の行事に参加する割合は目標に達しなかった。また、NPO法人数は、地域活動を支援する取組の中でNPO法人に係る情報提供等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより活動が制限されたこともあり目標に達しなかった。

● 信州ふるさとの見える(丘)認定数

複数の候補地について市町村と現況確認を行うなど認定に向けた取組を進めたが、目標には達しなかった。

観光地利用者数、消費額の推移



移住者数の推移



【地域重点政策の評価】

新型コロナウイルスの影響を受けた一部の指標を除き、全体としては概ね目標を達成しており、移住・二地域居住先として選ばれる環境づくりや魅力ある観光地域づくりなどの取組により、魅力ある長野地域づくりを推進することができた。

【今後の取組の方向性】

- 個人旅行の増加など旅行動向の変化や新たな観光需要に応える地域情報の発信など、魅力的な観光地域づくりを支援する必要がある。
- 地方帰郷の流れを踏まえ、移住者やテレワーク利用者の更なる増加に向けて取組を強化していく必要がある。
- 身近に文化とスポーツがある豊かな地域づくりや自分らしく活躍できる元気な地域づくりに取り組む必要がある。

進捗状況

地域で安心して医療・介護を受けることのできる体制の構築

長野医療圏地域医療構想調整会議の開催
新型コロナウイルス感染症に対応した検査、医療体制の整備

安全・安心・快適な地域づくり

- ・防災・減災対策
- ・道路、橋梁、河川施設、砂防施設、排水機場等の基盤整備
- ・冬季交通対策、除雪 など



(主)長野真田線(長野市松代)



排水機場ポンプ設備更新(須坂市相之島)



砂防堰堤(須坂市仁礼)

【地域重点政策の評価】

次の取組等により、地域一帯となった「生活基盤の確保」の推進を行うことができた。

- 地域で安心して医療・介護を受けることのできる体制の構築に向けて、長野医療圏の課題、医療提供体制について協議がなされ、情報交換・共有が図られた。また、新型コロナウイルス感染症に対応するための検査、医療体制の整備に努めた。
- (主)長野真田線(長野市松代)や排水機場ポンプ設備(長野市、須坂市、小布施町)、砂防堰堤(須坂市仁礼)などの基盤整備を着実に推進し、生活環境や防災・減災機能の向上が図られた。
- 令和元年東日本台風災害において被災した河川・道路など公共土木施設や農地・農業用施設の復旧工事は、全ての箇所を完了させた。



砂防堰堤(坂城町久保)



一級河川沢山川(千曲市雨高)

【今後の取組の方向性】

- 基幹病院の建て替えや新興感染症への対策などを踏まえた、地域で安心して医療・介護を受けることのできる体制の充実を図り、健康に暮らせる地域づくりに取り組む必要がある。
- 国・県・流域市町村が連携した「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の着実な推進、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などを活用した社会基盤整備の推進等防災・減災による安全安心な地域づくりに取り組む必要がある。

長野地域計画の政策評価 4 「ながの果物語り」プロジェクト

【地域連携プロジェクトの評価】

※関係達成目標②③④

次の取組等により、長野地域の特色である果樹を軸に地域活性化を推進することができた。

- 首都圏や地域での果物の魅力発信、オリジナル品種の栽培講習会や新技術の研修、就農後の経営安定に向けた支援など、各方面の取組により、認知度の向上、戦略品種等の栽培面積の増加等の成果が得られた。
- 長野市綿内東町地区(23ha)において、果樹団地の区画整理が完了し、このほ場整備を契機に果樹団地が次世代へ継承され、若い担い手が生産性の高い果樹栽培を開始した。
- 令和元年東日本台風災害からの復興の位置づけも含めた地域産品のPR、生産者の技術習得の支援や生産拠点の整備、新商品開発や素材としての活用などによる消費拡大等に取り組んだ。



高生産性果樹団地(長野市綿内東町地区)



関西圏における地域産果物のPR

【今後の取組の方向性】

長野地域の特色である果樹生産を更に拡大するため、次のことに取り組む必要がある。

- 消費者ニーズの高い県オリジナル品種の戦略的導入の促進やスマート農業の普及による高い生産性や安全性の向上
- 労働力確保や地域内外での認知度向上、高品質な果樹の栽培に不可欠な畑地かんがい施設の整備

長野地域計画の政策評価 5 「体験」と「交流」を軸とした「地域の特長を生かした広域観光」推進プロジェクト

【地域連携プロジェクトの評価】

※関係達成目標⑦⑧

次の取組等により、令和元年東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても長野地域ならではの観光を推進し、再び訪れたいと思われる地域づくりを進めることができた。

- 個人旅行者をターゲットに据え、2020年に千曲市・上田市で認定された日本遺産を柱に、インスタグラマー等を招聘し、SNSを活用した情報発信を実施した。
- ワインツーリズム推進のため、ワイン用ぶどうの収穫手伝いを核に、宿泊を伴う周辺観光を付加した観光コンテンツの造成と集客の仕組みづくりを市町村・観光協会・ワイナリーやぶどう農家と進めた。
- サイクルツーリズム推進のため、北信地域及び管内の市町村・団体と連携した推進会議を立ち上げ、情報交換やガイド研修を実施した。



インスタグラマーによる焼栴糊田の撮影



上田千曲長野自転車道線

【今後の取組の方向性】

新たな観光需要に応える観光地域づくりを推進するため、次のことに取り組む必要がある。

- 観光地の魅力向上に加え、農業・アウトドアなど特徴ある体験型観光コンテンツの充実及び効果的な情報発信
- 市町村連携による取組の支援や圏域を越えた広域観光の推進
- 観光地の魅力につながる基盤整備